

第3日

***** 小倉競輪 ファンクラブ *****

vol.1689 2019/10/17

制作・編集責任／コンドル出版社 武田 圭二

<http://www.kokurakeirin.com/>

【小倉競輪場】 電投番号 [8 1 #]

☆ 市営 第5回 後節 第3日 九州競輪記者クラブ杯 ☆
スペースナイトレース (F II) 10R制

2019/10/☆・☆・18(金)

《目次》

◆展望&出場予定選手コメント

《展望&出場予定選手コメント》

■ ■ 1 R ■ ■ 出走表 (本命率40%) (発走時間16時00分) (電投締切15時57分)

<展望> 『自力型「中野」「伊藤」「戸塚」は互角』

2日目から補充の③(中野)は、鈴木薫の逃げを3番手から捲りに行ったら、この②(志村)に軽く止められるチョンボ、もっと考えてイエローラインの外を行ってれば頭迄あったのに未熟としか、それでも成績通り調子は上ってるので、先輩④(中山)に固めて貰ったなら捲りと決めず逃げても罰は当たらない。果敢に攻めてる⑤(戸塚)は、今回に限りは調子一息だけど力はあるので。準決は不覚にも後輩山口聖矢に離れた⑦(伊藤)は、修正したのであれば自力型。(戸塚)には成績以上の(志村)。地元①(俵)は佐賀の3番手はと成り、(伊藤)に決める。

<出場予定選手コメント>

- × 1 俵裕一郎 仕方無いです。伊藤の番手。
- 2 志村正洋 ④番を止めたけど、内を来られたのが。戸塚君。
- ◎ 3 中野真吾 江頭さんと決める事を優先した結果。自力。
- 4 中山匡男 展開ですね、調子は悪くない。後輩中野。
- 5 戸塚涼介 先行出来たのは良かった。勉強です。先行。
- 6 佐藤拓哉 やっぱり地元には競れない、決めず。
- △ 7 伊藤嘉浩 離れてしまって済みません。自力。

<展開予想>

←【5】2 6【3】4【7】1

<穴を探る> (伊藤)の捲りが届く。7-3 7-1

2車単 3=4 3-7 3-1

3連単 3-4=17

■ 2 R ■ 出走表 (本命率 45%) (発走時間 16時25分) (電投締切 16時22分)

<展望> 『何時迄も元気は地元ベテラン「安藤」』

2日目から補充で入った①(安藤)、12月で52歳に成るのに若かりし頃と変わらないのは明るい性格がそうさせてるもの、練習してるのか2日目の伸びは光ってたので、こゝは久留米の⑦(藤崎)には好きに走らせて、決める処はキッチリか。(藤崎)の残りど、欠明けにしては悪くない⑥(江頭)の流れ込みは五分。小倉は早くも5度目に成る②(山田)は、もっと強く成ってるかと思ったのに今回に限っては残念だけど、思い切って逃げた時は④(湯浅)が恵まれるし、3番手で折り合った⑤(越川)とで上位独占も。③(田村)は単騎なら捲りで一発狙いか。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 安藤雄一 展開が良かったので伸びた。藤崎。
- × 2 山田祐太 3番手に入れたのに周りが見えてない。自力。
- 3 田村英輝 高田に任せたのは自分の判断なので。単騎。
- ▲ 4 湯浅大輔 逃がされました。初の山田君。
- 5 越川一寿 戸塚はペース配分の勉強ですね。東で3番手。
- 6 江頭幹人 怪我が恐くて最後突っ込めない。福岡3番手。
- 7 藤崎優輝 戸塚君に気持で負けました。自力。

<展開予想>

←【7】16【2】45【3】

<穴を探る> (山田)のライン。4=2 4-5

2車単 1=7 1=4 1-2

3連単 1-7=26

■ 3 R ■ 出走表 (本命率 70%) (発走時間 16時50分) (電投締切 16時47分)

<展望> 『115期新人「鈴木」事実上の先行1車』

初日予選を反省した⑦(鈴木)、2日目は同型の山田祐太を相手に堂々と逃げ切ったのが実力か、調子の方はお世辞にも良いとは言えないが、恵まれた事には叩き合いを挑む自力型はいないので、油断しなければ逃げ切りは不動視される。後は関東ラインで②(中川)だが、見ての通りの調子なので、2日目に捲りを決めた⑤(志村)が関東の後から伸びる。準決勝は飛び付きを狙ったのに失敗した①(山村)は、自力型でも先行屋ではないので、自力と捌きを使い分けての単進出。④(北川)⑥(海地)で後を固める事に。悪くない③(河添)は直線勝負で連突入。

<出場予定選手コメント>

- △ 1 山村慮太 もうワンテンポ早くでしたね。自力・自在
- × 2 中川昌久 踏み出しが悪いです。鈴木君の番手。
- 3 河添信也 竹元には鐘で行って欲しかった。決めず。
- 4 北川智博 山村は頑張ってくれました。再度。
- 5 志村達也 ⑥番が踏んだので仕掛け易かった。関東3番手。
- 6 海地成仁 湯浅君は逃げてくれたので。話して近畿。
- ◎ 7 鈴木 薫 初日の事があったので先行しました。自力。

<展開予想>

←【7】25 3【1】46

<穴を探る> (山村)捌くか捲る。1-7 1-4

2車単 7-5 7-1 7-2

3連単 7-5=12

■ ■ 4 R ■ ■ 出走表 (本命率 55%) (発走時間 17時18分) (電投締切 17時15分)

<展望> 『新人「竹元」2勝目のチャンス』

今回は兄(太志)と兄弟参加と言う事で練習して来た①(竹元)、初日は奥原亨の逃げを4番手からやっと捲り、初めて予選1着を取ったのに、大事な準決勝は仕掛け遅れる不手際で初決勝は実現しなかったが、その雄大な体躯は努力次第では大化けの可能性が、こゝは⑦(本田)③(竹野)の大先輩に任されたなら逃げて押し切る事に。予選は松尾勇吾に飛び付いた④(山崎)、準決は原敬次のテクニックにやられ3着で決勝進出を逸したが、調子は悪くないので逃げか捲りの自力で⑥(田崎)と決める事にする。②(村上)に任された⑤(高田)は、今回に限り調子は良くない。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 竹元健竜 突っ張れば良かったかも。自力。
- 2 村上清隆 左肘の靭帯を痛めたが、抜きたかった。高田。
- × 3 竹野行登 丁度山崎君と合ってしまった。九州3番手。
- 4 山崎功也 番手に飛び付きたかった。自力・自在。
- 5 高田大輔 山崎君の様なレースをしたかった。自在。
- 6 田崎良太郎 3着なら上出来。山崎功也。
- △ 7 本田 博 竹元は⑦番のレースをしないと。竹元の番手。

<展開予想>

←【1】73【5】2【4】6

<穴を探る> 北日本コンビが狙い。4=6

2車単 1=4 1-7 1-3

3連単 1-4=37

■ ■ 5 R ■ ■ 出走表 (本命率 65%) (発走時間 17時46分) (電投締切 17時43分)

<展望> 『「竹元」「松丸」の福岡コンビで結着』

初日予選の捲りで前回落車欠場の不安は払拭したと思われた①(竹元)、それなのに大事な準決勝は中切れして9着するとは、それでも元気さは失なっていたので、こゝは⑨(松丸)⑦(倉岡)を背に逃げを第一に、新人③(安本)の出方次第では自信ある捲りで期待に応えるものと信じて。現在の(松丸)ならば逆転の方が狙いかも。調子と言うより力そのものが落ちてる②(新井)に、これからの若者にしては何かと足りない(安本)は、現在の倍以上の練習を必要が現状だけど、(新井)は先輩④(加賀美)に、(安本)は再び⑤(中村)に任された以上の自力戦。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 竹元太志 前に出る迄に脚使ったのが。自力です。
- 注 2 新井僚太郎 位置取りを厳しくやるべきでした。自力。
- △ 3 安本昇平 バックを取る競走が出来たので。自力。
- 4 加賀美智史 シビアに切り替えても良かったかな。予選同様、僚太郎。
- × 5 中村秀幸 最後は力負けです。安本を再度信頼。
- 6 高橋明久 赤板で出切った処でできなかった。自力。
- 7 倉岡慎太郎 脚が無いばかりに済みません。福岡の3番手。
- 8 石井雅典 松丸とハウスして危なかった。高橋君に任せる。
- 9 松丸裕紀 古閑さんに任されたので頑張った。竹元の番手。

<展開予想>

←【1】97【2】4【3】5【6】8

<穴を探る> 瀬戸内コンビを。5=3

2車単 1=9 1-3 1-5

3連単 1=9-357

■■ 6 R ■■ 出走表 (本命率 65%) (発走時間 18時16分) (電投締切 18時13分)

<展望> 『113期「樋口」「大城」力の攻防』

チャレンジの7車立の時は平気に2周を逃げ切った①(樋口)、9車立では出る迄に脚を使う事もあって苦戦を強いられているが、クサらず逃げに徹すと同時に練習を続けてれば必ず努力は報われるを信じて頑張る事か、こゝはラインの⑤(市倉)に任された以上は逃げてパワー全開。(市倉)は何故か目標不在の③(三澤)に直付けで競られる不運。そこで⑦(藤本)は④(永山)に任された事もあり自力に決める。(樋口)とは同期のライバル⑨(大城)は現時点では(樋口)より上のパワーだが、問題は②(山本)⑥(近藤)の愛知コンビが付け切れるかどうかの不安。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 樋口 開土 力付くでも先行したかった。先行。
- 2 山本 晋平 前々には攻めたので。大城の番手。
- 注 3 三澤 勝成 高橋明は先行してくれたので。樋口君に直付け勝負。
- 4 永山 英司 藤本君は頑張ってくれた。藤本君に任せる。
- × 5 市倉 孝良 道中無駄足使ったのが痛かった。後輩樋口。
- 6 近藤 幸徳 山本君は頑張ってくれました。晋平の後。
- △ 7 藤本 龍也 もっとホームは踏まないとダメですね。自力。
- 8 川崎 正安 連結を外してしまっは。東京の後から。
- ◎ 9 大城 慶之 絶好の展開も力不足。自力。

<展開予想>

←【1】(53) 8【7】 4【9】 26

<穴を探る> (大城)のパワーが上廻る。9-2

2車単 1=9 1-7 1-5
3連単 1=9-57

■■ 7 R ■■ 出走表 (本命率 55%) (発走時間 18時48分) (電投締切 18時45分)

<展望> 『福島コンビは準決のやり直し』

初日予選で鮮やか過ぎる捲りを決めた⑨(相笠)、それで準決勝もと期待したらやった事は大城慶之に遠藤勝弥が成松春樹とやり合ってくれるんじゃないかの他人頼みが仇に成っての敗退、再び先輩①(山崎)に任された以上は逃げありの自力で力出し切るものと信じて。S級点に望みがある(山崎)は、任せて点数アップ。②(遠藤)迄が東ライン。調子の良さなら111期ルーキー③(平尾)がズバ抜けて居り、⑥(古閑)④(田中)と決める逃げに徹し切る。前々に攻める⑤(宮司)に、⑦(黒田)⑧(橋本)の愛媛コンビは悩んで出した結論は単騎での闘い。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 山崎 司 相笠はホームで仕掛けると思った。再度信頼。
- × 2 遠藤 勝行 ①番に降りたけど要所でやられた。福島の後。
- ▲ 3 平尾 一晃 赤板過ぎから全開で持たなかった。自力。
- 4 田中 俊充 前2人は頑張ってくれたので。九州の3番手。
- 5 宮司 周郎 藤井に付いて行かないとダメですね。決めず。
- 注 6 古閑 良介 松丸のお蔭ですよ。平尾を信頼。
- 7 黒田 大介 焦らず内を締めてれば良かった。決めず。
- 8 橋本 勝弘 脚余らせたまゝですよ。僕も決めず。
- ◎ 9 相笠 翔太 鐘4で行くべきでした。自力。

<展開予想>

←【3】 64 5 7 8【9】 12

<穴を探る> (平尾)の逃げ切り。3-6 3-4

2車単 9=1 9=3 1-3
3連単 9=1-23 3-6=19

■ ■ 8 R ■ ■ 出走表 (本命率 65%) (発走時間 19時20分) (電投締切 19時17分)

<展望> 『攻めに徹す「伊藤」は遅しい』

肝臓病と闘い乍ら60歳迄S級で頑張った名レーサー公人氏(40期)を父に持つ①(伊藤)、最愛の父は病には勝てず亡くなったが、その闘志を受け継いだのが絶対にあきらめないプロ魂、父と違って先行・捲りの自力を貫いてるが、キッカケさえあれば追い込みに向かう日は来るかも、こゝは先輩⑨(齋藤)に任されたなら9割以上が先行。⑥(今村)迄が関東ライン。自力だけど先行より捲りタイプの②(遠藤)には、小倉バンクに強い⑦(山下)。熊本の2人は初日予選も並んでない事もあって、こゝも別々に走る事に成ったが、展開を考えたら厳しい。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 伊藤慶太郎 初日と同じで駆け引きが下手です。自力。
- △ 2 遠藤勝弥 ホームで行く勇気に欠けた。自力。
- 3 吉成貴博 巧く飛び付けたのが勝因。決めず。
- 4 水本博行 余裕はありました。吉成君。
- 5 森岡正臣 何とか付いて行けただけでも。南関の3番手。
- 注 6 今村俊雄 新井が仕掛けてくれたから伸びた。埼玉の後。
- × 7 山下貴之 2車で逃げるのは厳しいですね。勝弥(遠藤)。
- 8 太田黒大心 竹元も頑張ってくれたので。決めず。
- 9 齋藤和伸 余裕があり過ぎて内に突っ込んだ。慶太郎。

<展開予想>

←【1】96 8 34【2】75

<穴を探る> 南関コンビで決まる。7=2

2車単 1=9 1-2 1-7
3連単 1-9-236

■ ■ 9 R ■ ■ 出走表 (本命率 50%) (発走時間 19時55分) (電投締切 19時52分)

<展望> 『115期トリオ、熾烈な優勝争い』

前回の防府で同期3人を相手に完全Vを飾った⑦(佐藤)、その勢いでこゝ小倉でも連日S級に通用するパワーで連勝、こゝで勝てば次の小田原で特別昇班の運び、本人は全く気にしていないそうだが、同期①(松尾)⑤(山口)の上を行ってるので。後は予選で捲りにピッタリ付いて行けたベテラン②(浦山)、準決勝の脚ならば逆転は少々。無傷で勝ち上がった(松尾)も絶好調、再度④(原)を連れての先行・捲りで2度目の優勝を狙う。サラブレッド(山口)は単騎であれば好きに走れるのは有利で、初Vを意識した捲りは本命とは同等以上に。

<出場予定選手コメント>

- ▲ 1 松尾勇吾 鐘4で行けたし、調子は上々。優勝する自力。
- 2 浦山一栄 初日よりは楽な展開でした。初日同様佐藤
- 3 奥原 亨 ①番が1車で助かった。自力。
- 4 原 敬次 コンドル紙の印に発奮した。勿論松尾。
- × 5 山口聖矢 カマしたけど4角では一杯でした。単騎。
- 6 真船拓磨 離れたけど2着で良かった。初の奥原君
- ◎ 7 佐藤礼文 前が警戒してない1角で仕掛けた。自力。

<展開予想>

←【1】4【5】【7】2【3】6

<穴を探る> 単騎(山口)初優勝。5-7 5-1

2車単 7=2 7=1 7-5
3連単 7-2=15

■ ■ 1 0 R ■ ■ 出走表（本命率 4 0 %）（発走時間 2 0 時 3 5 分）（電投締切 2 0 時 3 2 分）

<展望> 『ラインの厚みで九州トリオ優勢』

調子良い選手が集まり一筋縄ではいかない決勝戦。展開は 3 人に成った九州に有利は否めないが、⑨（成松）と①（中村）は初日特選で空中分解してるのが、それでも地元⑧（城戸崎）が加わった事で（成松）は逃げやすく成ったのは事実。敵は逃げる事に迷いはない根っからの自力型⑦（藤井）、先輩③（今藤）を連れて逃げるかカマシで九州トリオに挑む展開を読んでは、力上位の⑤（元砂）、捲りの威力で再び（中村）の野望を打ち砕く。そしてもう一人絶対に見逃せないのは、連日 S 級上位のハイラップで疾風捲りを決めてる⑥（今村）。後は準決勝同様④（高津）。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 中村圭志 フレームを換えて良く成った。成松の番手。
- 2 中川博文 大城が止まったので、内を突いた。元砂。
- 3 今藤康裕 元砂は力あるので信頼してました。準也。
- 4 高津晃治 今村は一発は有りますね、離れました。再度。
- ▲ 5 元砂勇雪 中村さんを警戒して仕掛けました。自力。
- 特 6 今村麟太郎 自転車と体が噛み合ってるのが一番。自力。
- × 7 藤井準也 バランス崩したが出切れる自信はあった。自力。
- 8 城戸崎隆史 成松はやさしく行ってくれた。九州 3 番手。
- 9 成松春樹 セッティングを戻して良く成った。自力。

<展開予想>

←【9】 1 8 【5】 2 【7】 3 【6】 4

<穴を探る> 快調（今村）の優勝。6-4 6-5

2 車単 1-9 1-5 1-7

3 連単 1-9=5 6